

長野の 求心力

地方創生を先導する



特集－ 長野市若里多目的スポーツアリーナ

1998年2月、長野県長野市でオリンピック冬季競技大会が開催され、国内外から120万人を超える観客が訪れた。長野を舞台に生まれた数々の名場面と、訪れた人々の熱狂は、長野市に感動の記憶と開催地としての誇りをのこした。

アイスホッケーのメイン会場として建設された長野市若里多目的スポーツアリーナ（通称：ビッグハット）は、現在もフィギュアスケートの国際大会が開催されるトップレベルのスケートリンクとして知られる。冬季以外はイベントや展示会に利用され、全国から人を呼びこむ「長野の求心力」の核として、年間を通じて高い稼働率を維持している。



大きな帽子のような屋根をもつ外觀から「ビッグハット」という名前がつけられた
写真：読売新聞 / アフロ

長野市若里多目的スポーツアリーナ

「世界の長野」 を継承する リンク



アイスホッケー、アイススレッジホッケーの国際大会の開催時は、リンクの製氷方法を変え、フィギュアスケート用に比べて硬い氷がつくれられる



例年2月には全国中学生フィギュアスケート大会が開催される。ジュニア選手の登竜門であり、歴代優勝者にはオリンピックのメダリストが名を連ねている



アフター長野オリンピックへの挑戦

「オリンピック施設として、トップレベルのスケートリンクでありつづけること、市の施設として市民の皆様に活用していただくこと、この二つの役割を果たすことが指定管理者としてビッグハットを運営する私たちの使命です」と株式会社エムウェーブの代表取締役社長 土屋龍一郎氏は話す。

オリンピック開催地では、開催後の関連施設運用が大きな課題とされているが、その解答の一つがここビッグハットにある。



株式会社エムウェーブ
代表取締役社長
土屋 龍一郎 氏



感動を生み続けるスケートの聖地へ

株式会社エムウェーブでは、高品質なスケートリンクをつくりだす高度な製氷技術を確立している。

「氷の質で世界一をめざしています。競技用のリンクは、スピードスケートやフィギュアスケートなど競技種目によって、適した氷の厚みや表面温度が異なります。競技に合わせて製氷方法を変えて、それぞれに特化したリンクをつくっています」と土屋氏は語る。過去に何度もフィギュアスケート国際大会の会場となってきたビッグハットは、滑りやすく疲れにくい、と選手からの評価も高い。しかし、近年はフィギュアスケート人気の高まりにより、観客の収容力が高いアリーナ施設の仮設リンクで行われることも増えている。

「私たちは、仮設会場では実現できない、質の高いリンクをつくりています。選手たちが最大限の力を発揮できる会場であると自負し、積極的にこのリンクに国際大会を誘致したいと思っています」

昨年はNHK杯国際フィギュアスケート競技大会がビッグハットで開催された。この大会で羽生結弦選手が世界最高得点を更新し、また一つビッグハットに感動の記憶が刻まれた。

「選手が憧れるスケートの聖地でありたいと思っています。そのため、トップレベルのリンクであり続けることが必要です。最高峰の大会を誘致し、新たな歓喜の舞台となる。このプラスのスパイラルを継続することが、長野のレガシーの継承です」

長野経済を 盛り上げる ステージ



コンベンション施設として稼働する夏季は、長野市内の企業や団体による利用が8割を占め、「市民の利用促進と地域活性化への貢献」という使命が果たされている。

「ここ数年はビジネスマッチングのイベントが活発になっています。10年以上継続して開催されているイベントもありますが、毎年参加企業が増え、地域経済活性化への効果も高まっているとききます」

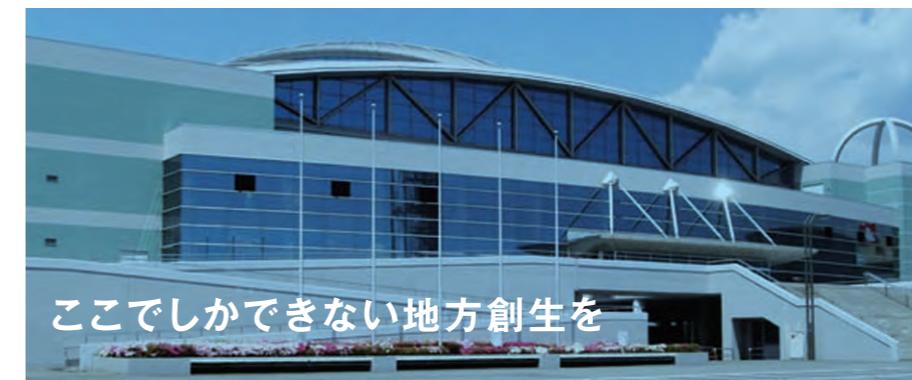
と土屋氏は話す。

毎年秋には株式会社エムウェーブが主企画として「長野まるごと秋祭りinビッグハット」を開催している。市民に秋の味覚を楽しんでもらうことを目的に、長野市に留まらず、他県とも連携し各地の名産品やグルメなどを紹介している。

「昨年は2日間で4万人近い来場がありました。そのほとんどが長野市民ですが、扱う食材・グルメの対象を県外にも広げ

ることで、日本全国から長野に人を呼び込んでいます」さらに土屋氏は、「長野に世界中の人に訪れてほしいと語る。

「長野市には、オリンピックという世界規模のイベントを成功させた実績があります。そのポテンシャルを活かすべく、もっとインバウンドマーケットへ積極的に挑戦していきたいと考えています」



写真上、左 2015年11月に開催された「長野まるごと秋祭りinビッグハット」。1970年代から続く長野市の祭りを前身とし、ビッグハットでの開催は昨年で9回目となった。会場内のステージでは市民団体によるダンスや音楽のパフォーマンスが行われる

ビッグハットの営業戦略では、「地域への波及効果」が重視されている。

「例えば、1月～2月頃は長野市に観光客が少ない閑散期にあたりますが、この時期、ビッグハットは全国中学生フィギュアスケート大会の会場となっています。練習日まで含めると5日間、全国から出場選手約300名とその家族、応援団が集まり、長野市に滞在します。この先6年間はビッグハットで行なうことが決まっている

ため、その間、周辺の宿泊施設へ波及効果が約束できるのです」これこそ、ストレートの聖地であるビッグハットでしかできない地方創生、と土屋氏は話す。

「2018年には長野オリンピック開催から20年を迎えます。そこに向けてオリンピックの開催地でしかできない新たなイベントを起こしていきたいと考えています。ビッグハットを長野の求心力の核とし、感動や活力、経済効果を大きく波及させていきます」

鹿島建物管理概要

管理開始	2006年4月1日
管理内容	設備管理業務、清掃業務（日常清掃）

建築概要

施設名称	長野市若里多目的スポーツアリーナ（通称：ビッグハット）
所 在 地	長野県長野市若里3-22-2
主要用途	スポーツイベント
設 計	長野市・山下・長野設計共同企業体
施 工	大成・佐藤・守谷・長野建設共同企業体
面 積	建築面積 12,050m ² 延床面積 25,240m ²
	アリーナ面積<ロールバックシート収納時> 4,000m ² <ロールバックシート設定時> 2,000m ²
構 造	RC造、SRC造、S造

主要設備概要

電気設備	高圧 6.6kV 1回線受電 設備容量 7,810kVA 非常用発電機 625kVA 熱源
	・都市ガス焚冷温水発生器 400RT × 2基 ・貫流式蒸気ボイラー 1,500kg/H × 2基
空調設備	空調方式 ・アリーナ内：単一ダクト定風量方式 10系統 ・道路、ホワイエ：単一ダクト+ファンコイル 8系統 ・会議室：水冷ヒートポンプバッケージ ・更衣室：ファンコイル
衛生設備	市水（飲料水）、井水（雑用水）の2系統 水受水槽 75m ³ × 1基、井水受水槽 270m ³
特殊設備	ロールバックシート（ステージ兼用）7プロック 1,668席 昇降式観覧席（ステージ兼用）9段 396席 電光掲示板 縦2.4m × 横8.6m（2面） 大型映像装置 220インチ × 2面

TALK
TO 対談
TALK



「つぎもこの場所で」
継続的に利用される施設をめざして

「事故の芽」を摘む大切さ

土屋様 イベント施設は、利用者に事故なく安全に使っていただくことが何より大事だと思っています。鹿島建物さんの点検や巡回、きめ細かな対応によってトラブルの芽が摘まれており、理想的な形で施設が維持されています。事故を未然に防ぐための、表立っては見えない仕事ぶりにこそ、実力を感じています。

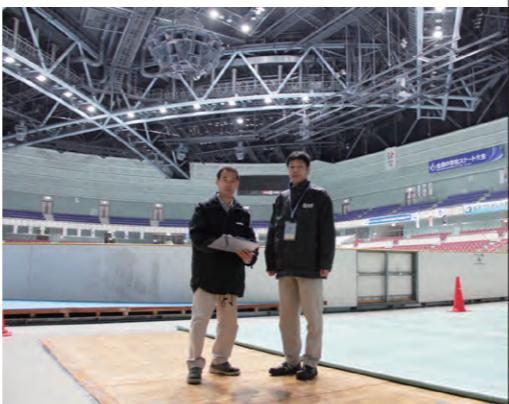
和多田 ありがとうございます。建物管理においては「何も起こらない」ことが最高の状態です。ごく当たり前に安全な環境を保つことが私たちの務めですから、その状態を評価していただけることは、建物管理に携わる者としてたいへん光榮です。

松本 鹿島建物では、主に設備管理と

清掃を担当させていただいているが、常に「安全性の確保」を念頭に置いて業務にあたっています。例えば、スケートリンクの使用前に行っているキャットウォークの巡回と拾い掃き清掃は、まさに事故防止目的としています。

夏季にコンサートやイベントの演出で使用される銀テープや紙吹雪は天井の梁などに張り付いて残ることがあります。これが何かの拍子にスケートリンクの上に落ちると、滑走の障害となり、転倒につながる恐れもあるため取り除かなければなりません。

高野様 幅広い用途で使われるビッグハットならではの配慮ですね。小さな紙吹雪一枚で、練習を重ねてきた選手たちが実力を発揮できないような事態を避けたいという真剣な思いやりの姿勢を感じます。選手たちからの「滑りやすいリ



ンク」との評価は、安全性を含めてのことかもしれません。

土屋様 ビッグハットも竣工から20年が経過し、施設の老朽化も進んでいますが、大きな事故やトラブルもなく稼働しているのは、日々の点検や清掃をしっかりとしていただいている成果だと思います。

写真右より

株式会社エムウェーブ
ビッグハット事務所所長 高野 雅史 様

株式会社エムウェーブ
代表取締役社長 土屋 龍一郎 様

鹿島建物総合管理 関東支社 長野出張所
所長 和多田 重浩

鹿島建物総合管理 関東支社 長野出張所
ビッグハット管理事務所 所長 松本 公済

細やかな配慮がリピーターを生む

高野様 イベントや大会の当日も、鹿島建物さんのおかげで施設の安全性と快適性を維持することができます。通常、会場のごみ箱の設置とごみの管理は主催者様にお願いしていますが、ごみ箱が溢れてしまったりする場合には率先して片づけてくださっていますよね。

松本 来場した方々が気持ちよく過せるよう、施設を最良の状態に保つことを意識しています。快適性が確保できなければ、選手はいい演技ができないですし、イベントの客足が遠のくことも考えられます。感動の舞台でありつけたい、というエムウェーブさんの強い想いに、建物管理の側面から応えたいと思っています。



和多田 オリンピック施設の管理に携わっていることを私たちも誇りに思っています。清掃の行き届いた空間や職員の気持ちの良い対応など、施設のクラスにふさわしい建物管理を行っていきます。

土屋様 ビッグハットはリピーターのお客様が多く、それにより高い稼働率を安定的に維持できていますが、ここ数年、イベント終了時に次回の予約を入れてくださるお客様も増えています。鹿島建物さんの細やかな配慮が、お客様からの評価にもつながっているはずです。これからも、オリンピックを成功させた長野のおもてなしを、ともにこの場所で体現していきたいですね。



写真左 全国中学生フィギュアスケート大会の開催直前、会場の巡回を行う鹿島建物スタッフ。「ここで繰り広げられるプロさながらの演技に、毎年圧倒されます。今年も事故のない素晴らしい大会になるよう、最後まで会場の安全を守り抜きます」と松本所長は話す

写真右 イベントの開催中に電球が切れないように、日常点検で照明のつき方を確認する